

主題：パウロの書簡における真理の重要な項目

メッセージ 9

三一の神が彼ご自身を三部分から成る人の中へと分与する

聖書：Ⅱコリント13:14. ローマ8:2, 6, 10-11, 14, 16. ガラテヤ3:26. 4:5-7

- I. わたしたちは聖書の中心的事柄のビジョンを見る必要があります。それは神聖な意図、神聖なエコノミー、キリストにある信者たちの中へと分与する三一の神の神聖な分与であって、この事は、キリストのからだとしての召会を建造し、新エルサレムにおいて究極的に完成し、三一の神の永遠の団体的な表現となります——エペソ1:5, 9-11, 22-23. 3:14-21. 4:16. 啓21:2, 10-11。
- II. 三一の神は三部分から成る人を創造し、彼を入れる生ける器としました——創2:7:
 - A. 聖書の基本的な教えは、わたしたちが神のかたちに創造された器であり、わたしたちの唯一の内容としての神を受け、神を入れるということです——創1:26. ローマ9:21, 23。
 - B. わたしたちは、主に開いた器となり、神聖な分与を絶えず受けて、神の表現となる必要があります——Ⅱコリント4:7。
- III. 神聖なエコノミーは、神聖な三一の神聖な分与によって完成されます。すなわち、三一の神が三部分から成る人の中へとご自身を分与することによって完成されます——Ⅱコリント13:14:
 - A. 神聖なエコノミーは神のご計画また案配であり、彼の願いまた定められた御旨から出てきます。神聖な分与は、このご計画と案配にしたがった神の分与また分配です——エペソ1:3-23. 3:14-21。
 - B. 新約で神に関して述べられているあらゆることは、神聖なエコノミーのための神聖な分与と関係があります——ローマ8:3, 11. エペソ1:3-23:
 1. 聖なる御言における三一の神に関する啓示は、神学や教理的な理解のためではなく、神を神聖な三一において、彼の選ばれ、贖われ、再生された人の中に分与して、彼らの経験また享受とならせるためです——Ⅱコリント13:14。
 2. 三一の神（父、子、霊）は、手順を経て命を与える霊と成りました。それは、わたしたちが生ける水としての彼から飲むことができるためです——ヨハネ4:10:
 - a. 源としての御父は源泉であり、表現としての御子は泉であり、伝達としての霊は流れです——14節. 7:37-39. 啓22:1。
 - b. これが神聖な三一の神聖な分与です——Ⅰコリント12:13. 15:45後半。
- IV. 神聖な分与という事柄は、ローマ第8章において完全にまた豊かに啓示されています。この章がわたしたちに啓示していることは、三一の神（父、子、霊）がどのようにしてご自身をわたしたち三部分から成る存在（霊、魂、体）の中へと分与して、わたしたちを彼の子たちとならせて、キリストのからだを構成するかということです——ローマ8:2, 6, 10-11, 14. ガラテヤ3:26. 4:5-7:

- A. 「分与」という言葉は、「分配する」という意味です。わたしたちは、三一の神の神聖な分与について語る時、それは神がご自身をわたしたちに分配すること、すなわち彼ご自身をわたしたち三部分から成る存在の中へと分与することを意味します。
- B. ローマ第8章において、わたしたちは三一の神（父、子、霊）を持っています——ローマ8:2-3, 5, 9, 11, 13-14, 16, 23, 26-27。
- C. ローマ第8章11節において、三つの重要な事柄が取り扱われています。それは、三一の神と過程と分与です：
1. この節において、わたしたちは三一の神全体を持っています。「イエスを死人の中から復活させた方」（父）、「キリスト」（子）、「あなたがたの中に住んでいる彼の霊」（霊）。
 2. わたしたちの中に住んでいる方は、肉体と成ること、十字架、復活を経過された三一の神です。御父は御子の中で具体化されており、御子はその霊として実際化されており、その霊はわたしたちに内住するその霊です。
 3. 三一の神の分与は、わたしたちの全存在を浸透しています——11節、I テサロニケ5:23。
- D. 命としての三一の神の分与を通して、わたしたちの霊は命です（ギリシャ語、ゾーエ）——ローマ8:10：
1. 霊が義のゆえに命であるのは、わたしたちの再生された人の霊を指しています——ヨハネ3:6。
 2. わたしたちの霊は、再生され生かされただけでなく、命となりました——ローマ8:10。
 3. わたしたちがキリストを信じた時、彼は神聖な命の霊として、わたしたちの霊の中へと入って来て、ご自身とわたしたちの霊とミングリングさせ、一つ霊となりました（I コリント6:17）。今やわたしたちの霊は、生きてだけでなく、命でもあります。
- E. 命としての三一の神の分与を通して、わたしたちの魂（わたしたちの思いによって表される）は命となりました。「霊に付けた思いは命……です」——ローマ8:6：
1. わたしたちが命である霊に思いを付けることを経験すればするほど、ますますわたしたちの思いは新しくされ、わたしたちの魂が造り変えられる基礎となります——12:2. エペソ4:23。
 2. わたしたちの思いは、魂の主要な部分です。この思いが新しくされると、意志と感情も、それに続いて自然に新しくされます——ローマ12:2。
- F. 命としての三一の神の分与を通して、内住する霊は、わたしたちの死ぬべき体に命を与えます——ローマ8:11：
1. 三一の神がわたしたち三部分から成る存在の中へと分与されることは、「あなたがたの死ぬべき体にも、命を与え」（11節）という言葉で示されています。この言葉は、その分与がわたしたちの存在の中心で起こるだけでなく、その周辺に、わたしたちの全存在にも及ぶことを示します。
 2. わたしたちの霊と思いが命（ゾーエ）となるだけではなく、体でさえも完全にゾ

ーエに満ちることができるようになります。

3. 神はわたしたちの死ぬべき、死につつある体に命を与えておられます。それは、わたしたちが生かされて、神のみこころを遂行することができるためです——12:2. コロサイ1:9。

G. 三一の神は三部分から成る人の中へとご自身を分与して、信者たちを神の子たちとさせます——ローマ8:14, 19. ガラテヤ3:26. 4:5-6:

1. わたしたちは、三一の神の分与を通して、命において神の子たちとなります——3:26。
2. わたしたちは、神の子たちとして、神の命、神の性質、神の御子の霊を内側に持っています——ヨハネ3:15. II ペテロ1:4. ガラテヤ4:6。
3. 神の子たちとは、魂の造り変えの段階にある神の子供たちです。彼らは霊の中で再生されて、神聖な命の中で成長しつつあるだけでなく、彼らはまたその霊によって導かれることによって、生活し歩いています——ローマ8:16. 12:2。
4. 三一の神の分与の究極的な結果は、子たちを生み出してからだの肢体とさせることです——8:14. 12:4-5。

H. 三一の神がわたしたちの三部分から成る存在の中へと分与することは、わたしたち（神の子たち）を神格においてではなく、命、性質において神とさせることです:

1. わたしたちはローマ人への手紙において、神聖な啓示の高嶺を見ることができません。すなわち、神が人と成り、人が神となることです——ローマ8:3. 1:3-4。
2. ローマ人への手紙における深く神聖な思想とは、神の全体的な救いにおいて、罪人が贖われ、再生され、聖別され、更新され、造り変えられ、同形化され、栄光化されて、神の子たちとなり、命と性質において神と同じになって、キリストの有機的なからだの肢体となるということです——3:24. 5:10. 8:14, 29-30. 12:4-5。

I. わたしたちは毎日、三一の神にわたしたちの三部分から成る存在の中へと彼の精錬された優しい分与を遂行していただくなら、内側で彼が成長することによって、命において成長するようになります。